

— 生理の貧困 — を考える

コロナ禍で浮き彫りになった「生理の貧困」。世界では、2017年に生理用品の一部無償化を導入したスコットランドに続き、各国で先進的な動きが始まりました。日本でも国や地方自治体で様々な取り組みがなされ、もりおか女性センターでは今年4月から支援を開始しています。

▶ 皆さんから寄せられた「生理」にまつわるエピソード紹介 ◀

エピソード1 かさむ費用（経済的理由） コロナ禍で収入がなくなり生理用品が買えない。節約のため交換する頻度を減らした。	エピソード2 周囲の目（社会的環境要因） 「生理休暇」が言い出しにくいし、「怠けている」と思われ悲しかった。
エピソード3 活動制限（機会の喪失） 生理痛がひどく、学校（水泳の授業等）や仕事を休まざるを得なかった。	エピソード4 つらい症状 イライラ・ムカムカ／不安感／腹痛／頭痛／眠気／肌荒れ／体が思うように動かない

経済的な問題、女性を取り巻く社会環境など解決しなければならない問題が多いことがわかります。理解を深め、「生理」について語る事ができる社会を目指していきませんか？

～もりおか女性センターが行っている2つの支援～

生理用品の無料配布(昼用・夜用のセット)

お受け取りの際は、

- ♡お名前やご住所をお聞きすることはありません。
- ♡紙袋に入れてお渡しいたします。
- ♡スタッフは女性です。

電話相談開設「つながりサポート女性相談+プラス」

～つらい気持ち ひとりで抱えていませんか？～

- ♡相談は無料です。ただし、通話料はかかります。
- ♡女性相談員が対応します。
- ♡秘密は固く守ります。

【TEL】080-2833-1411

【開設】月・火・金 17:00～20:00

土・日 10:00～16:00

*第2火曜日・年末年始・祝日は休み



コラム 「11月11日って何の日？」

11月11日は、日本における使い捨てナプキンの原型「アンネナプキン」が発売された日。今や日本は世界一の生理用品先進国といえる。しかし、それ以前の日本には、根強い月経タブー視、不浄説が生理用品の進化を妨げ、女性たちは不便で不快な経血処置を余儀なくされた歴史がある。

「日本人女性の身体に合った、紙綿製の生理用品が普及すれば、女性たちの生活も変わるのに・・・」

1960年代、若き女性経営者坂井泰子らの強い願いと、市場開拓の努力の結果世に出た「アンネナプキン」の誕生は、高度経済成長期の女性の社会進出を支えるとともに、月経の否定的なイメージを徐々に払拭し、女性たちを解放へ導くものとなった。ちなみに、「アンネ社」「アンネナプキン」の由来は、『アンネの日記』の中で月経を「甘美な秘密」と表現し、肯定的にとらえていた少女アンネ・フランクの清純なイメージをヒントとしている。

(参考文献『生理用品の社会史』より)

もりおか女性センター

(管理・運営:特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて)

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって5階
 電話番号 (019) 604-3303 FAX (019) 601-4031
 開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00まで)
 休館日 毎月第2火曜日、年末年始

■ 起業応援ルーム 芽でるネット

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって1階
 電話番号 (019) 604-3303 FAX (019) 601-4032
 開館時間 月曜日～金曜日 10:00～17:00
 休館日 土日祝日、毎月第2火曜日、年末年始



(バス)
 盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車
 徒歩3分

※女性センターには、専用の駐車場はありません。
 おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

● 女性相談

相談受付電話 019-604-3304

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。また、メール相談も受け付けます。(ホームページの相談フォームから)
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。

	相談開設時間	
月	10:00	～ 17:00
火	10:00	～ 17:00
水	10:00	～ 20:00
木	10:00	～ 20:00
金	10:00	～ 17:00



ひと ひと
 —女と男、ともに参画する社会をめざして—

もりおか女性センター

ニュースレター

もりおか女性センターは、女性の自立と社会参画を支援するとともに男女共同参画を推進する拠点です。

2021年11月

No. 93

学ぶ

学習・研修の機会の場

出会う・力をつける

活動促進・交流の場

悩み・考える

女性相談

考え究める

調査・研究事業

知る

情報提供・収集場所

発行：もりおか女性センター

「なくそう！女性に対する暴力 2021」

開催期間：11/12(金)～25(木) 最終日は15時まで

もりおか女性センターの今年度のテーマは、「性暴力をなくそう！」です！

★ 本会場：もりおか女性センター

暴力根絶を願う掲示物の展示
メッセージTシャツの展示
関連図書を紹介など

★ Twitter

「クイズ de パープルリボン」
性暴力に関するクイズを
期間中、定期的に発信



★ YouTube ①

夏に開催し、大好評だった講座の
アンコール配信です！（要申込）

「おうち性教育はじめませんか!？」

講師：村瀬 幸浩さん



申込みフォーム

★ YouTube ②

女性センターのYouTubeチャンネルで
おすすめ啓発動画の紹介をします！

★ 鉄塔パープル・ライトアップ

東北電力ネットワーク(株)岩手支社
(株)テレビ岩手

★ 暴力根絶を願う掲示物

パープルリボンツリー展示

会場：イオンモール盛岡
イオンモール盛岡南



内閣府は、11/12～25を「女性に対する暴力をなくす運動」期間と定めています。

女性に対する暴力は、DVや性犯罪、売買春、人身取引、セクハラ、ストーカーなどさまざまあり、コロナ禍でさらに深刻さを増しています。

この運動は、暴力で苦しんでいる人にメッセージを届けるとともに、暴力を潜在化させない社会を目指し、全国的に繰り広げられています。



起業応援フォーラム 2021



今年度の起業応援フォーラムは、起業したい女性、起業に興味がある女性、先輩起業家の交流を目的として、先輩女性起業家によるパネルディスカッションと出店マーケットを開催します。

日時：2021年12月11日(土)

会場：プラザおでって3階
ホール・大会議室

参加
無料



① パネルディスカッション 10:00～11:30

演題「持続可能な仕事づくり

～ 成功例だけじゃない私の起業ストーリー～

毎年開催している起業講座「女性起業芽でる塾」で事例発表をいただいた3人の先輩女性起業家をパネリストにお迎えします。コーディネーターは、芽でる塾の講師でおなじみの関洋一さんです。起業するまでの道のりや思いをお聞かせします。

パネリスト			コーディネーター
石頭 悦さん 幸呼来 Japan 株式会社 代表取締役	板谷 美香さん アロマサロン 「Little Me リトルミ」店主	湯澤 ちひろさん 小さな雑貨屋 「HYTTA ヒッタ」店主	関 洋一さん 管理会計実践サポート 株式会社 代表取締役

■対象・定員：起業に関心のある女性 30人

■託児：6カ月から未就学児 3人（要申込・先着順）／子ども1人500円
※託児は、パネルディスカッション参加者のみ

② 出店マーケット 10:00～15:30

講座受講生・女性センターの起業事業に関わりのある方の出店マーケット1日限定 OPEN!

《出店》

- Made 和紙絵
- atelier kao アトリエ カオ ハンドメイド、布もの手芸品
- かがみゆき 似顔絵、イラスト
- minamo 占い
- くるみ・あじ 手作りお菓子
- Original bag Charbouz 布バック 他

■対象・定員：どなたでも 50人(各時間帯 10人)

*コロナ感染防止のため、一度の入店者を10人に制限します。下記のご希望時間をお申し込み下さい。

- ① 10:00～10:50 / ④ 13:30～14:20
- ② 11:00～11:50 / ⑤ 14:30～15:20
- ③ 12:30～13:20

①・②共に要申込 ■申込方法：電話（604-3303）にて先着順に受付中

● 事業のご案内

■ シングルマザーが知っておきたい 給付型奨学金と貯金の方法

オンライン (Zoom)

子どもの教育費ってどれくらい？給付型奨学金ってどんな制度？貯金の方法は？この講座で、お金の不安を取り除くヒントを得よう！

講師：加藤 葉子さん（株式会社マイライフエフピー）

日時：12/26・1/30 両日とも日曜日 10:30～12:00

対象・定員：シングルマザー・またはそれに準ずる状況にある方 10人

参加費：無料

申込方法：11/18(木) 12:00～



ホームページの申込みフォームにて受付



申込みフォーム

■ 男女共同参画基礎セミナー もりおか女性塾

オンライン (Zoom)

「少女マンガをジェンダーの視点で読み解いてみよう！」

少女マンガを通してアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）や思い込みの気づき、ジェンダー平等社会について一緒に考えよう！

講師：トミヤマ ユキコさん（ライター・東北芸術工科大学講師）

日時：1/6・1/20 両日とも木曜日 18:30～20:30

対象・定員：テーマに関心のある女性 20人

（両日参加できる方優先）

参加費：無料

申込方法：12/6(月) 12:00～



ホームページの申込みフォームにて受付

申込みフォーム

■ 盛岡市・もりおか女性センター共催事業

人権啓発講演会 テーマ：「性の多様性」「性暴力」



「性の多様性」「性暴力」についての現状と課題を把握し、子どもたちのために今、何ができるのかを考えてみませんか？

講師：遠藤 まめたさん（一般社団法人にじーず代表）

瀧田 信之さん（NPO法人湘南DVサポートセンター理事長）

配信期間：12/23(木) 10:00～R4.1/27(木)

対象：教員・子どもに関わる職を希望する学生

申込方法：12/6(月) 10:00～



ホームページの申込みフォームにて受付

申込みフォーム

※ 詳しくは、チラシやホームページをご覧ください。

【終了報告】フェスティバル 2021 映画会

10/8(金)・9(土)開催のフェスティバルは、2年ぶりの映画上映会で、会場上映の他、初のオンライン上映も行いました。

今年は、「マイ・ブックショップ」「ママをやめてもいいですか!?!」「ジェンダー・マリアージュ」の3本の映画上映の他、関連した図書の紹介を行いました。

また、オンライン上映の前には歴代のフェスティバル紹介動画を流しました。女性センターのインスタグラムからも見ることができます。

【参加者の声】

- ・自分で自分の人生を選択すること、やりたいという気持ちを持ちたいと思った。(マイ・ブックショップ)
- ・1人で頑張らなくても大丈夫、周りに頼って良い、と世の中全体がそんな空気になって欲しい。

(ママをやめてもいいですか!?!)

- ・幸せになる権利は誰にでもあり、それを諦めないことが大切だと思った。(ジェンダー・マリアージュ)



歴代フェスティバル
紹介動画
(インスタグラム)